

## 名古屋交通計画 2030 成果目標（令和6年度）

展開	指標	成果目標			
		当初値	現状値 ( )内は前年度数値	数値目標	
				2025年度	2030年度
<b>展開1</b> リニア中央新幹線の開業に向けた広域交通環境の形成	名古屋市内へ公共交通等を利用して来訪する人の割合	67.4% 2021年度	65.5% 2024年度 (62.5%)	70%	73%
	名古屋駅の乗客数 <sup>※1</sup>	41万人 2020年度	59万人 2023年度 (54万人)	67万人 2024年度	70万人 2029年度
<b>展開2</b> 持続可能な公共交通ネットワークの形成	公共交通を便利で利用しやすいと思う人の割合	81.6% 2021年度	84.3% 2024年度 (84.9%)	85%	87%
	市内の鉄軌道及び市バス1日当たりの乗車人員合計 <sup>※2</sup>	188万人 2020年度	240万人 2023年度 (226万人)	243万人 2024年度	251万人 2029年度
<b>展開3</b> まちづくりと連携した多様な道路空間の形成	歩行者と自転車のそれぞれが、安全で快適に通行していると感じている市民の割合	39.7% 2021年度	33.9% 2024年度 (37.8%)	40.7%	50%
	都心部の歩行者交通量 <sup>※3</sup>	41,000人 2020年度	34,000人 <sup>※4</sup> 2024年度 (46,000人)	54,000人	56,000人
<b>展開4</b> 地域のニーズに応じた移動環境の形成	地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思う市民の割合	31.7% 2021年度	35.0% 2024年度 (34.7%)	46%	60%
	交通をテーマに地域主体のまちづくりを推進した地区数	2件 2021年度	4件 2024年度 (4件)	累計 5件以上	累計 10件以上

※1、2、3 新型コロナウイルス感染症拡大以前のデータから数値目標を設定しています。

(※1 64万人(2017年度)、※2 262万人(2019年度)、※3 50,000人(2019年度))

※4 交通量調査の時期を変更したため、昨年度と比べ歩行者数が減少する結果となりました。